

平成28年第7回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成28年7月13日 午前9時00分
- 2 閉会 平成28年7月13日 午前10時15分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、横田 威委員、金原真人委員、
山本明子委員、土井真紀江委員
- 4 会議に欠席した委員
なし
- 5 会議に出席した職員
教育部長 大根義久
教育部次長兼中央図書館長 豊田高広
教育総務課長 三竹雅雄
学校教育課長 鈴木欽也
生涯学習課長 富田 成
スポーツ課長 大羽耕一
文化財課長 鈴木利昌
渥美図書館長 菅沼智子
教育総務課主任 宮嶋綾子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第7回定例会議事日程

日 時 平成28年7月13日(水)
午前9時00分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議 題
 - (1) 伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編について
- 4 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 学校再編について
- 5 その他

教育長

開 会 午前9時00分

皆さん、おはようございます。

御多用のところ御出席くださいます、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。

定足数に達していますので、平成28年田原市教育委員会第7回定例会は、成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者としては、横田委員と土井委員の御兩名を指名させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、議題に先立ち、教育長報告事項をお願いいたします。

教育長日誌をごらんください。

6月22日、東三河教育長会議。東三河教育事務所、愛知県からの報告が中心でした。

6月23日、田原市議会本会議（最終日）。

6月24日、校長会。

6月24日、野田小学校体育館の起工式がありました。同日に赤羽根中学校の学校見学会を開催し、泉、伊良湖岬両校区の方に学校を見ていただきました。

6月27日、学校訪問（赤羽根中、田原中部小）

6月28日、渥美地域総代連絡協議会で渥美地域のコミュニティ協議会長さんと自治会長さんが集まる会で、泉地域、伊良湖岬地域の中学校の統合の様子、学校見学会の様子をお話しさせていただきました。

6月29日、東三河小中高特連携教育推進協議会がありました。東三河の小中高、そして特別支援学校も含めた関係者の連携を図る会議がありました。横田委員にも御出席いただきましたが、高校と義務教育側で若干ちょっとまだ溝もあるかなと思いました。

6月30日、学校訪問（福江中、童浦小）、午後、社会教育審議会。

7月6日、文化財保護審議会。

7月1日、田原市中高一貫教育推進委員会を福江高校でやりました。高校側と中学校側でやはり若干まだ学校の温度差があるのかなという感じを持っております。

7月2日、3日、田原市中学校総合体育大会。

7月8日、全日本サーフィン選手権大会実行委員会であいさつをしました。8月23日から、23日は前夜祭ですが、六日間、ロングビーチあるいは赤羽根ロコポイントのどちらかで全日本サーフィン選手権というオールジャパンの大会が行われるということで御承知いただきたいなと思います。

午後は、愛知県市町村教育委員会連合会総会、研修会に横田委員と

ともに出席し、県内の教育委員さん、教育長が集まる総会がありました。

研修会では、豊橋市の前教育長の加藤さんが、教育長を終えての感想を含めた1時間ばかりの御講演がありました。

7月9日は、先ほど話題にのぼっております川崎のぼる展が開会されました、大雨の中だったのですが、議長は一番華やかなオープニングセレモニーであったと言っておられました。にぎやかに、あの雨の中を開会式ができて、ほっとしております。

7月11日、青少年問題協議会。

それから本日、教育委員会定例会。そのあと、また総合教育会議がありますので、皆さんにはよろしくお願ひしたいと思います。

あと、あしたは三河部都市教育長協議会ということで、豊田市、岡崎市などから、この田原市を会場に教育長さんの会議が開催予定です。この三河部都市教育長協議会は、刈谷市の太田先生が教育長会の代表となっております。

午後には社会を明るくする運動があります。

あとは、海フェスタの開会式が7月16日ということで、例えば子どもが市長さんの手を引いて行くようなことがあったりして、7月16日から、最後7月31日までの2週間にわたって海フェスタが盛大に開催される予定です。

7月22日、三遠南信教育サミット、7月23日、小学校水泳大会がありまして、名古屋ドームでは田原市主催のシティセールスで中日×ヤクルト戦があります。

7月26日、伊良湖岬中学校統合検討委員会、7月28日、泉中学校の再編検討委員会が行われる予定です。

7月29日、東三河教育長会議が新城市で開催予定です。

そんなことで教育長報告事項にさせていただきます。

何か御質問等がありましたら、お願ひいたします。

また何かありましたらお尋ねください。

では議題に入りたいと思います。

議案第18号 伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編についてを議題といたします。

この議案第18号の審議についてでございますが、審議される両校の統合先及び統合時期の案につきましては、伊良湖岬中学校の統合検討委員会委員及び泉中学校再編検討委員会の委員に提示するまで非公開といたします。

これは審議される統合先及び統合時期が慎重に取り扱うべき内容であり、両校の検討委員会での協議のため、各委員に内容を提示するまで部外秘とすることから非公開とするものであります。

したがいまして、本市教育委員会においては秘密会とする提案をし

たいと思います。

また、両校の検討委員に提示する日まで開示しないこともあわせて提案いたしますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

御異議なしということで、議案第18号「伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編について」の審議について、この教育委員会を秘密会といたします。

市民から会議録の公開請求がありましても、この部分については両校の検討委員会の委員に提示する日まで非公開文書扱いといたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、改めて議案第18号 伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編について議題といたします。

事務局、説明をお願いいたします。

教育総務課長

議案第18号 伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編について、伊良湖岬中学校及び泉中学校の統合先案及び統合時期について別表のとおり定めるものでございます。

1枚めくっていただきまして、伊良湖岬中学校、泉中学校の統合先及び統合時期についてですけれども、案といたしまして、伊良湖岬中学校につきましては、統合先を福江中学校、統合時期につきましては平成31年度。

泉中学校につきましては、統合先を赤羽根中学校、統合時期を平成33年度とする案でございます。

経緯といたしましては、平成25年度から平成26年度にかけてずっと伊良湖岬中学校、伊良湖岬小学校の関係は進めてまいりました。

泉中学校につきましても、同じように学校を考える会、アンケートなどを行って進めてきたものでございます。

平成27年度からの状況といたしましては、平成27年度中に統合先を決定するという方針のもと、両校で検討委員会や学校見学会なども行って、いろいろ議論を深めてまいりました。

平成27年度末におきまして、伊良湖岬小学校のPTA、泉小学校のPTAがそれぞれ各中学校再編についてアンケート調査を行っておりまして、その結果も踏まえて学校再編の協議を進めていきたいということで、この前もお諮りいたしましたけれども、平成27年度中に統合先を決定するという方針を、検討委員会の意見、伊良湖岬小学校のPTA、泉小のPTAのアンケートの結果に基づきまして平成28年度中の早い時期に統合先と統合時期を決定するというように方針変更したものです。

こうした方針変更のもと、統合先案、統合時期案をこのようにするものでございます。

伊良湖岬中学校・泉中学校の統合先及び統合時期について（資料）

をごらんください。統合先と統合時期の案についての理由と生徒数の見込みが記載してございます。

次に、伊良湖岬中学校統合についてのアンケート結果、泉中学校統合についてのアンケート結果がございませう。

伊良湖岬中学校の統合先と統合時期の理由は、伊良湖岬中学校がまともって福江中学校へ統合するという意見が多かったということ。統合時期については、統合時期を遅らせるという意見が多かったということだす。

それと伊良湖岬小学校6年生で統合して、予定だと平成30年度に中3で統合、最高学年での2度の統合といったことを回避するというようなこと。伊良湖岬小学校建設が予定どおりとしてほしい意向も強い。伊良湖岬地域全体で考えると、地勢的に近くて地獄的なつながりが強い。

伊良湖岬小学校PTAのアンケート結果では、福江中学校とする意見が多く、時期については遅らせる意見が多い。

伊良湖岬小学校のPTAのアンケート結果を尊重したいという意見が多かったこと。

そういったことによりまして、統合先については福江中学校、統合時期については平成31年度としたものでございませう。

伊良湖岬中学校の統合について、伊良湖岬小学校PTAのアンケート結果では、福江中学校と赤羽根中学校を比べてみますと、福江中学校が71%、赤羽根中学校29%になっております。

統合時期について比較してみますと、予定どおりが38%、遅らせるが62%の結果になっております。

資料の表は、現在の伊良湖岬中学校と福江中学校の1年生から3年生までの人数だす。平成31年度に統合した場合、統合後の福江中学校の生徒数の見込みは382人。1年生120人、2年生120人、3年生142人という人数になっています。

その後、1学年120人から110人ぐらいで推移すると考えられます。

次に、泉中学校の統合先、統合時期についてですけれども、理由といたしましては、やはり検討委員会や保護者の意見では、赤羽根中学校とする意見が多かっただす。

統合時期については、伊良湖岬中学校と同時期に統合という意見もありましたけれども、統合を急がなくてもよい、慎重に考えたいという意見も多いということだす。

泉地域全体で考えると、地勢的にやはり赤羽根中学校が近く、地獄的な結びつきがある。市全体の中学校のバランスを考慮すると赤羽根中学校への統合がよい。

泉小学校PTAのアンケート結果では、赤羽根中学校とする意見が多く、時期については伊良湖岬中と同時期に統合という意見が多い。

泉小学校PTAのアンケート結果を尊重したい意見が多いということ
でございます。

泉中学校と赤羽根中学校の現在の1年生、2年生、3年生の人数が
表のようになっております。統合後の赤羽根中学校につきましては、
平成33年度全校生徒数は240人、1年生87人、2年生65人、3年生88
人になっていきます。

現在、小学校4年生の子が、泉の子も41人、赤羽根中学校も47人と
いったところで、3年生が同じような人数、41人という人数で統合で
できるというところもよいかと思っております。

あと、アンケート結果ですけれども、赤羽根中学校と福江中学校の
比較では、82%が赤羽根中学校、18%が福江中学校。

伊良湖岬中学校と同時期の統合がいいが75%、統合を遅らせるほう
がよい25%という結果になっております。

泉中学校の統合時期について、伊良湖岬中学校と同じ時期の統合が
よいという理由としては、泉中学校のアンケート結果の3ページ目を
ごらんください。設問2、ア、伊良湖岬中学校と同じ時期がよいとい
うところで理由が記載してございます。四つ目、五つ目、「もし同じ中
学校に合併になった場合、同じ中学の方がよいから」、「岬中と同じ時
期の方が子どもたちもなじみやすい」、「統合先が同じ場合、同じ時期
がよい」となっております。

ここを見ていただいても、伊良湖岬中学校と同じ中学校へ統合する
場合を想定してアンケートを答えた方が多いかと思われま。それは
PTAの会長さんに聞いても、そういうことで答えられた方が多いか
なとおっしゃっておりましたので、「伊良湖岬中学校と同じ時期がよ
い」という割合が多めなのは、統合場所が同じ学校へ行くなら同じ時
期がいいという思いが強いかと思っております。

次に、今後のスケジュールという資料がござい。伊良湖岬中学
校、泉中学校両校の検討委員会へは、7月20日から22日にかけてこの
内容をお知らせして、7月26日、28日の両校で検討委員会を行って
いく予定でおりますので、よろしくお願いたします。

以上です。

教育長

事務局からの説明がありました。

御質問があればお願いします。いかがでしょうか。

金原委員

金原委員。

両校の統合時期で、伊良湖岬中が平成31年度、泉中学校が平成33年、
この2年というのは何か意図があるのですか。

教育総務課長

平成31年度は当初の予定より1年遅らせるということです。平成33
年度は、やはり統合時期を伊良湖岬中学校の統合時期と同時期にと
いう意見もありますけれども、まだまだ根強く泉地域としてもじっくり
という意見もありますので、それで伊良湖岬中学校よりも後の年度に

教育長

し、人数面で、小学校4年生の生徒数が、伊良湖岬中41人、赤羽根中47人ということで、そこで最高学年の3年生が同じぐらいの人数のときに統合する、そういったタイミングがよいと考えております。

ちょっと付け足しで言うと、どうしても泉の人たちが平成31年度と一緒に動きたいというようであればですが、これについて教育委員会としての案として、7月末の検討委員会で提案しながら、また8月に意見を聞く会、9月に再度、検討委員会を開催して、次回の教育委員会で決定というような運びを考えております。

その中で、市民の皆さんに説明しにくい部分としては、両校が同じ年に統合すると、伊良湖岬小学校のときの例でもありますが、2校分の先生が一度に失われてしまうということです。

そういう点では一気に統合を進めるのは、学校の様子を鑑みたときに、できれば同時の進行は何とか考慮したいということです。

それから、泉地域と伊良湖岬地域がそれぞれの学校を選んでいる状況なので、あえて一緒にする必要はないということも理由です。

通学には、スクールバスを考えております。赤羽根中学校へ行くにあたり、予算面では少人数で行くほうが経済的だとは思いますが、もう1年、平成34年にずらしますと、20人位の児童数となり半減していますので、スクールバス等もやりやすいかなということではありますが、泉の子たちのサイドに立てば、やはり特にナーバスになる最高学年の中学3年生に動くということは、野田中学校の統合で経験済みです。野田中学校が例えば、1学年24人の子どもたちが田原中学校へ行ったときに、24人が6クラスに分かれて4人ずつで動いております。2校で統合するのであれば、ある程度同じ規模に近いような部分がありますので、統合する子どもたちがあまり負担を感じずに動きやすいというのは、泉のところを見てもみますと、小4の41人の2クラスの子どもたちですので、総合的に見たときにはやっぱり少し大きな人数で、中3になるときにこの41人に引っ張ってもらって、赤羽根中学校へ負担感なく、引け目なくやれるタイミングじゃないかなということで平成33年度を教育委員会として提案したものです。

金原委員

もう1点お願いします。

泉中学校の説明会のときに、伊良湖岬中学校の統合時期が平成31年度、統合先が福江中学校という情報は伝えるのですか。

教育総務課長

両検討委員会が26日と28日にございますが、この資料を同時に伊良湖岬地域、泉地域の検討委員あて送付する予定です。

教育長

伊良湖岬中学校の検討委員の方も同じ資料で説明いたします。

横田委員。

横田委員

統合先決定事項の方針変更ということで、下から2行目の平成28年度中の早い時期に統合先と統合時期を決定するとなっています。これについては、9月ぐらいの決定を前提に話をしていくとのことで確認

教育総務課長
横田委員

済みですよ。

そうです。

中には、「こんなに早く決めなくてもいい」など、意外とひっくり返す人がいるので、この方針を大前提にして話をしていかないと、意見を言う人が出てくるとくしゃくしゃになってしまいます。

教育総務課長

5月の伊良湖岬中学校検討委員会、泉中学校再編検討委員会で、今年度のスケジュールを説明しております。その時にも、7月後半の検討委員会では方針案を出し、9月には決めていく予定ということは説明させてもらっています。

横田委員

5月の検討委員会後に開催した、福江中学校と赤羽根中学校の見学会で、保護者などからの意見は何か聞いていますか。

教育総務課長

報告事項で、学校見学会のまとめとして報告させていただきたいと思います。

横田委員

以前、例えば伊良湖岬中学校は旧小学校校区で移動するという話もありました。統合先を、例えば旧和地小学校は赤羽根中学校へ行く、旧堀切小学校は福江中学校に行くとか、そういう話が以前出ていたと思うのですけれども、そういう話はありませんでしたか。

教育総務課長

今のところ、伊良湖岬小学校はまとまって行きたいという意見が多いです。やはり今まで保育園も一緒でしたし、小学校も一緒になりましたので、岬地域として一緒がいいという御意見が多いです。

横田委員

時期を経ていくと、そういうふうに変え方が変わってくるので、この前の学校見学会で学校を見て、また考えが変わってくる可能性もあるので、十分配慮しながら、やはり一番大事なのは地域や保護者の方々の意見を尊重するという教育委員会の大前提の方針がありますので、その方針にそって十分意見を聞いて進めてください。

教育総務課長

両校の学校見学会をやった感想としては、福江中学校も赤羽根中学校も子どもは元気で明るくて一生懸命やっていて、いい印象を皆さんが持っておられました。

教育長

報告のところまで思っておりましたが、学校見学会について話題になりましたので、何ページですか。

教育総務課長

報告資料5ページです。

福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会のまとめという資料がございます。統合先、統合時期についてのアンケート結果では、伊良湖岬地域の方の御意見では、「福江中学校への統合に賛成。一緒にやってきた子どもたちができれば一緒に統合先に行かせたい」という声も出ております。

教育長

その下に、「伊良湖と土田からの通学を考えれば赤羽根よりは福江だと思ふ」という意見もあります。土田の人たちなら距離的には赤羽根のほうが若干近いと思うのですが、横田委員さんが御心配されたようなことについて、突然指名しますが、部長なりに新しく入った立場

教育部長

で御意見をいただけますか。

確かに横田委員さんがおっしゃられるようなことは、以前はあったという感じを受けていますけれども、保護者のアンケート結果などを見ても、「伊良湖岬中学校と一緒に福江中学校へ行きたい」という声やはり強いように感じます。これは、統合検討委員会などの経緯を見れば確かに、堀切以東や旧和地小学校でそういう意見も昨年度はあったように感じますが、「一緒に学んできたということから別れるのがやっぱり寂しい、一緒に行くべきじゃないのか」という声強いように感じます。ですから、そういった形で案としてまとめております。

花井教育長
土井委員

土井委員さん、この教育委員会の案について何かありますか。

いろいろなお母さんからの意見を聞くと、親が思うよりも子どもたちのほうが早く統合を望んでいるようです。

今回、野田中学校が田原中学校に行きました。大きな学校に行ったことによって不安のある子ども当然いると思うんですけど、大きな学校へ行って部活動が選べるということで、「やりたい部活動ができた」という意見を聞いている子がいるみたいです。そうすると、この伊良湖岬地域の子ども、泉地域の子ども、特に泉地域の知り合いのお母さんが多いので話を聞いていると、部活動の選択が二つしかないことに対して、福江中学校にしても赤羽根中学校にしても、今いる学校よりも多いので、やっぱり親が思う以上に子どもたちはそこまで悩んでいない様子で、「せっかくなら早く自分たちの代で統合したい」という意見も強いと聞いています。

親心としては、遠くの学校に行くことや、全然知らない学校に行くので不安もあると思います。やっぱり子どもと親の意見が違うなという印象もあります。だから、親が思う以上に子どものほうが先を見据えているのかなと思いました。実際簡単にできることでもないのですが、そこは本当に慎重に考えていかなければいけないことかなと思います。ずっと最近統合の話を聞いている中で、地域の方たちがいろいろ言っている割に、子どもたちのほうが先を見据えていると感じました。

教育長
山本委員

山本委員さん、いかがでしょうか。

いろいろ話をしているうちにまとまってきたのかなという感じがします。いい時期に早く決定したほうがいいなと思います。

これを見る限り、地域の方たちの思いというのがいいところに来ているのかなと思います。

横田委員

もう一つは、「早くしてほしい」という意見が意外と多いような気がします。

伊良湖岬小学校建設の絡みがあるので、伊良湖岬中学校は3年後。ただ、泉中学校が5年後の案になっています。

「早くしてほしい」というのに5年間という、何となく気持ち的に遅いような気がします。野田中学校は、ずっと動いてしまったので、

教育総務課長

ああいう形のほうがいいような気がします。

伊良湖岬中は、小6、中3での統合の回避というところが一番大きくて、平成31年度。泉中学校の統合時期として平成33年度を方針案として示していますが、検討委員会をやっていく中で、「どうしても早く」ということであれば、先ほどの教育長さんもおっしゃっていたとおり、統合時期の変更の可能性が考えられます。

教育長

現行、伊良湖岬中学校が、例えばこのまま福江中学校へ行く、泉中学校も福江中学校へ行くなら、同時期に行きたいというのはわかりますけれど、中には、保護者は若干急ぎたいということもある。それから、慌ててなくさなくてもいいじゃないかという考えの方の意見も聞いております。総合的に見て平成33年度という案になっています。早く時期や統合先を決定してほしいとの意見も聞いています。

早く決定だけど、早く動くではなくて、こういう会議をずるずるとやっているのは不安が継続するので、早めに決めてもらえれば、それに向かって準備できるという感じで私は受けとめております。

もう一個言いますと、さっきの部活動の件についても、決定時期が決まれば、例えば泉中学校にはテニス部があり、赤羽根中学校はテニス部を閉じてしまっています。テニス部の復活を検討することも可能になります。泉の子がテニスをやる。赤羽根の子もすぐにはテニスをやれないかもしれないけど、1年生からテニスをやると、先ほど土井委員さんが言ったような選択も統合することによってふえていくという形になります。福江中学校については今ある部活動をそのまま継続していければ、伊良湖岬地域の子たちがいろいろ選びながらやれるということで、統合のタイミングとして伊良湖岬地域は平成31年度、泉地域は、その後校舎建築はないので、でも施設は古くなっているののでいつまでものつもりはもちろんです、タイミングはいつがいいかなということでもひとまずこれを示させていただいて、できるだけ「これがいい」と言ってもらえると一番いいかなと思います。

山本委員
教育長

統合時期はまだ決まってないですね。

今後、伊良湖岬中学校と泉中学校の統合先と統合時期を決めていきます。

横田委員

方針案を示したので、これから検討委員会で意見を聞いて、例えば伊良湖岬中学校は、この案のままでいいと想定できますが、泉中学校は、もっと早い時期にという意見も出るだろうと私は思います。

検討委員会や地域の説明会で保護者なり地域の考え方をきちんと聞いて、そこで修正することもあるということです。

教育長

そういうことですね。

御質問等も終了しましたので、お諮りいたします。

議案第18号 伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

御異議なしとのことですので、議案第18号につきましては、原案どおり可決いたしました。

議案第18号 伊良湖岬中学校及び泉中学校の学校再編についての審議が終了いたしましたので、秘密会をここで解くことといたします。

では、続いて報告事項に入りたいと思います。

初めに、教育委員さんたちの連絡報告事項をお願いします。

横田委員

6月29日に東三の小中高特教育推進協議会に参加しました。

7月2日、中学校総合体育大会。バレーと野球を見に行きました。

野球は、電光掲示板ができたので様子を見に行ったら、やっぱりとてもよかったです。早めにつければよかったかなと思いました。

7月8日、愛知県市町村教育委員会連合会第50回定期総会及び研修会に参加しました。今後は県の理事になりました。

以上です。

金原委員

私は、6月27日の赤羽根中学校、田原中部小学校の学校訪問だけでした。

田原中部小学校は、学校訪問として初めてこの学校へ行き、伝統の重さを非常に感じました。意外と生徒さんがおとなしいという印象は受けました。

花井教育長

では山本委員さん、お願いします。

山本委員

私は、前回の定例会から教育委員の仕事はたまたまなかったのですが、学校薬剤師をやっている童浦小学校にプールの水質検査などで行っています。6月に学校に行って、例年、学校のプール周りに竹藪のようなものがあって、虫や葉っぱがプールの中に入ってきていたのですが、それがことしはすごくきれいになっていました。また、裸足で走るプール周りのコンクリートがでこぼこになっていて危なかったのですが、それも全部工事をして、上にシートみたいなものを張ってきれいになっていまして、予算を組んで対応していただいたとお礼を言われました。

それから、校長先生と学校の様子などについて話もできました。学校へ行かないと聞けないので、足を運ぶのはいいことかなと思いますので、続けていきたいと思います。

土井委員

6月30日に福江中と童浦小学校の学校訪問に行きました。

福江中は子どもの関係でよく行くので、普段と変わらない様子でしたが、童浦小学校は、生徒数が多いということもあって、やっぱり少ない学校は少ない学校なりの悩みがあるけど、やっぱり生徒数が多い学校なりに教室もすごくぎちぎちだったし、童浦小学校は特に生徒数がこれからもどんどんふえるという話を聞いたので、いろいろな面で改善できたらいいかなと思いました。

7月8日の蒲郡の研修会は急きょ欠席となってしまったので、申し

教育長

教育総務課長

わけありませんでした。

そのほかいかがですか。次に、その他。

学校再編について報告をお願いします。

学校再編についての資料をごらんください。

1 ページ目、これは前にもお出ししました方針変更の内容です。平成28年度中の早い時期に統合先、統合時期を決定するという事です。5月24日と5月25日の泉中学校、伊良湖岬中学校の検討委員会で説明させていただいているものでございます。

スケジュールといたしましては、本日の教育委員会でこの案を出して、次回7月の両校の検討委員会では先ほどの統合先案、統合時期案を示して協議していこうと考えております。

あと、8月には両中学校区での説明会を行いまして、9月には今年度第3回目の検討委員会を行って協議をして意見をまとめ、そして教育委員会のほうへ報告という運びで9月の教育委員会で決定するというように考えておりますので、よろしく願いいたします。

次のページには、平成27年度に行われた検討委員会や校区の意見交換会での主な意見でございます。

「保護者の意見をしっかり聞いてほしい」、「小6で統合、中3で統合は負担がかかる」、「伊良湖岬中学校はまとまっていずれかの学校へ動くほうがよい」、「伊良湖岬小学校を予定どおり平成32年度には新設をしてほしい」、「保護者の意見は分かれているので、岬中と泉中の統合時期が違うといじめ等の不安はある」という意見が出ております。

次に、第4回検討委員会だよりでお知らせした意見です。

3 ページ目で、「自分の子どもは今の予定だと中3で統合にあたってしまう。(中略) 統合するなら統合時期を早く決定して確実に方向性を出してほしい」というような意見が岬のほうからはありました。

4 ページ目、泉中学校再編検討委員会の抜粋です。「地域性があるので、なじめない子も出てくる。できるだけ事前に交流したほうがいい」あと、「少しでも海拔が高いところへ行きたい」という声もありました。あと、統合した場合、野田中学校は路線バスを使用しているので、通学方法はどうなるのかということをおもっている保護者の方もいらっしゃるのかなと思っております。

5 ページ、6 ページには、福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会(まとめ)があります。

福江中学校は6月8日、赤羽根中学校は6月24日に開催いたしました。参加者合計は、それぞれ69名と74名でした。

学校見学会では、伊良湖岬中学校と泉中学校の統合についての経緯と今後のスケジュールにつきまして教育委員会から説明させていただき、その後、授業参観、学校の概要説明、部活動の参観などを行っております。

教育長

その時にいただいたアンケートによりますと、例えば岬地域の方が「子どもの気持ちはどうなのか？それほど嫌と思っていないかもしれない」、「新設の伊良湖岬小学校の建設がスムーズに行われるように」、「一緒にやってきた子どもたち、できれば一緒に統合先へ行かせたい」というような意見がありました。

6 ページには赤羽根中学校の見学会の意見があります。その中でも岬の方は「岬校区全体のことを考えれば福江中がよい」、「旧渥美町で一つの中学校を希望」ということも書いてありました。

泉の方では、「平成27年度泉小学校PTA会長が実施したアンケート結果を尊重する」という意見もありました。

統合先、統合時期は早めに知りたいとの思いがあるかなと思います。学校再編については以上です。

ありがとうございました。

本日の議事はすべて終了といたします。御協力に感謝します。

これをもちまして、田原市教育委員会第7回定例会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午前10時15